

★ 第 123 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2012年7月14日（土）～7月15日（日）

会場：山口大学 人文学部小講義室（講義棟1F）

（〒753-8540 山口県山口市吉田1677-1）

※持ち時間は**30分**（報告**20分**：質疑**10分**）が標準です。レジュメや資料は**40部**程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、DVD、ビデオが使えます。

7月14日（土）

理事会 12:00～13:00（人文学部研究棟1F・第3講義室）

開会 13:25

山口地域社会学会合同部会（13:30～15:30）

『地域社会における協働の現状と課題—山口県内の事例から—』 司会：横田尚俊（山口大学）

1. 「コミュニティ政策の再編成と協働のまちづくり」 坂本俊彦（山口県立大学）

2. 「『コミュニティ友志会』における若者就労支援の現状と課題」

松永朋子（NPO法人コミュニティ友志会代表）

3. 「東日本大震災被災地支援活動における協働

—東日本大震災復興支援宇部市民協働会議の取り組み—

佐々木哲（宇部市総務管理部防災危機管理課長）

=Coffee Break（15分）=

自由報告部会I 職業とジェンダー（15:45～17:15） 司会：佐々木武夫（西南学院大学）

1. 「『得体の知れない悩み』はどうなったか？」

—Y県I市における主婦たちへのインタビュー調査を中心に—

里村和歌子（九州大学大学院比較社会文化学府）

2. “Exploring the Determinants of Happiness for Immigrant Chinese Engineers in Japan:

Evidence from Their Life Stories” 李蔚（九州大学大学院比較社会文化研究院）

3. 「介護職の離職意向に関する要因分析」 孔英珠（九州大学大学院人間環境学府）

=Coffee Break（10分）=

総会（17:25～18:15）

懇親会（18:30～）会場：第1学生食堂ボーノ（会費：有職者5,000円、非有職者3,000円）

※懇親会終了時に会場から湯田温泉まで送迎バス（無料）が出ます。

7月15日（日）

自由報告部会II 支え合う社会（9:30～11:30） 司会：倉重加代（鹿児島女子短期大学）

1. 「関係基盤の地域的構造—マクロ社会関係資本への切り口—」 三隅一人（九州大学）

2. 「献血動機の分析による多回数献血者の想像力の検討」

吉武由彩（九州大学大学院人間環境学府）

3. 「中山間地域高齢者の定住意識—テキストマイニングによる分析から—」

○後藤みゆき、田中マキ子（山口県立大学）

4. 「中山間地域高齢者の健康福祉」

○田中マキ子、後藤みゆき（山口県立大学）

=Coffee Break（10分）=

特別部会：シリーズ『現代社会を読む』（11:40～12:30）

「コミュニティにおける担い手の複数性と参加の制度化」

速水聖子（山口大学）

閉会 12:30